

自分の命を守る防災ミニキャンプ

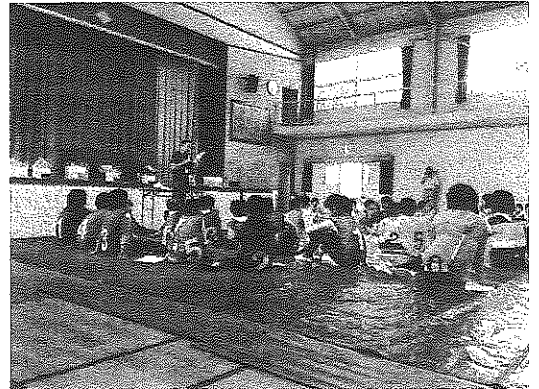
小学生含め、約100人が参加!!

9月24～25日、城見小学校と城見公民館で防災キャンプが行われました。防災キャンプとは、レクレーションを取り入れながら、いざという時、どうすればいいのかを学び、自分の命を守る力をつける学習です。

まちづくり協議会、城見公民館、社協城見支部、そしてPTAなど地域の大人が力を合わせ、協力して行いました。城見っ子広場のメンバーを中心に楽しく有意義な活動ができました。

キャンプでは避難場所で使うダンボールのイスやペットボトルのランプを作りました。緊急時の食事作りもしました。保護者と一緒に初めてにしては上手にしていたのがよかったです。また、応急手当や自然災害についてのお話もありました。

4月の熊本地震、6月の笠岡地域の大雨の後でもあり、こうした取り組みの重要性が身近になったのではないのでしょうか。



国道2号線の歩道の整備はじまる



隧道東側の歩道工事

一昨年、城見まちづくり協議会が実施したアンケートで要望の多かった、通学路の安全確保の一つが、国道2号線の城見隧道から用之江交差点までの歩道の整備です。安全安心部会の部員の取り組みが実り、隧道の東側に新しく歩道が取り付けられる工事が進んでいます。引き続き大宜地区でも工事を予定しています。

また、2号線の歩道の草刈りも行なわれ少しずつ良くなっています。一方、小学生の通学路の安全確保のために、用之江踏切から小学校の間、跨線橋の下から城見郵便局、大宜そして農免道路間の通り抜けを遠慮してほしいという看板の設置によって、以前に比べると通行量が減りました。みんなで課題を見つけ、みんなで解決するまち協の取り組みの成果です。ありがとうございました。

中学生はこんなことを思っています!

金浦中学校の生徒にアンケートを実施しました

金浦中学校校区の金浦、城見、陶山のまちづくり協議会は8月、中学生にまちづくりに関するアンケートに協力していただきました。

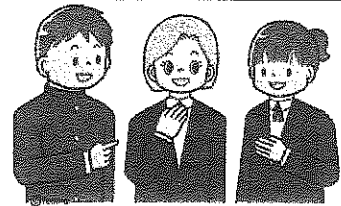
今後も住みたいか	全体	住みたい 25%	やや住みたい 57%	その他
	城見	住みたい 27%	やや住みたい 59%	その他
中学生になって地域の活動やイベント参加		現在参加中 31%	過去参加したことがある 57%	その他

活動やイベントへの不参加の理由が多かったのは

- ①活動の時間がない ②全く興味がないなどです。

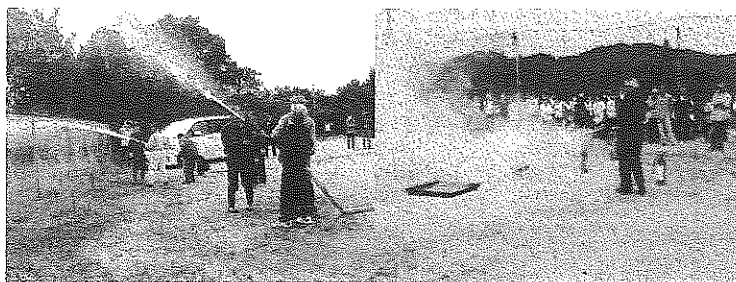
地域社会に貢献する活動で参加したものの(複数回答可)

- ①祭りやイベントの参加 ②スポーツ健康づくり ③清掃、美化 ④自然保護



「自分の住んでいる地域の誇れるものや大切にしたいもの」の質問には、「緑があり自然が豊か」「ひったか、おしぐらんこ」「地域の人々のつながりややさしさ」といった回答が寄せられました。

その反面、「特にない」「未回答」の割合がそれぞれ25%、40%と高く、まち協として、将来を担う子どもたちに自分たちの地域に関する意識をもっと高めていく諸施策を考えていく必要を感じさせられました。



10月16日(日)、城見台グラウンドで防災訓練を行いました。消火器の使い方やホースでの放水を体験しました。頭では分かっているつもりでも、いざという時には慌てて何もできなくなります。一度でもいいから体験しておくことが大切です。こうした防災訓練は定期的に行いますので、ぜひ皆様ご参加ください。

防災訓練を実施

～今後の予定や計画～

- 10月 29日(土) 城見地区ふれあいグランドゴルフ交流会
- 11月 12日(土) 安全安心部会、ふれあい部会
- 11日(金) ごみ減量化説明会
- 14日(月) ごみ減量化説明会
- 20日(日) 大冨地区防災訓練(ワークショップ)
- 27日(日) 城見ふれあい芸能文化祭
- 12月 11日(日) 神楽を楽しむ会
- 1月 8日(日) 大見山新年祭



城見地区まちづくり協議会

笠岡市用之江 334 番地 TEL0865-66-5133

毎週金曜日の午前9時30分から12時まで在室しています。
お急ぎのご用件等は、事務所の郵便受けをご利用下さい。

(お詫び) VOL.13「城見っ子探検隊」の記事で読みづらい箇所があったことをお詫び致します。